



平成28年度
事業報告書



平成28年度法人方針と活動状況について

はじめに・・・

「社会福祉法等の一部を改正する法律」の多くは、平成29年4月1日から施行となります。いわゆる「社会福祉法人制度改革」は、厚生労働省からの政省令が11月11日に交付され、政省令に則り、準備を進めて参りました。

以和貴会におきましても、制度改革に向けた準備を行っており、地域社会での活動による貢献の取組み、各管理者の経営意識の向上によるコンプライアンスの強化、会計処理の監査チェックと開示における経営の透明性などの対応をスタートさせております。なお、社会福祉充実計画（ ）を算出すると、充実残高はマイナスとなり充実計画を策定する必要は、平成29年度時点ではありません。

事業運営では、予算時点で赤字の事業所があり、結果もその事業の多くは赤字となってしまうまいした。しかし法人全体としては、前年度を上回る収入および事業活動収支差額を残すことができました。また今人拠点では、新会計基準に移行後初めてとなる黒字を計上できるまで運営状況は変わりました。今後赤字予算の事業所は改善を急ぎ、早期に充実残高の黒字化を図り、余裕をもって新規事業及び改修を実施していけるように整えていきます。活動面においては、「利用したい(させたい)」事業所となるように活動内容の見直しを行っております。その準備段階として、職員配置を充実させるための新卒求人への強化、管理者育成を図るための外部研修の実施など、28年度の法人方針「遠慮(とおきをおもんばかり)」を念頭に入れ、将来のための取組みを行っております。しかし採用については、世間一般の景気回復により、福祉業界への就職は氷河期となり、現職員がフルパワーで毎日をこなさなければならず、育成による意識改革も、即結果につながるかは不透明な現状であります。その中において4月より新卒者3名の採用が決まり勤務しております。平成30年度も継続して新卒者の雇用につなげていきます。

各事業、問題点を抱えているものの、ご利用者にとってより良い支援を目指し事業運営を取り組んでおります。今年度も第4回目となった「I W A K I 夏フェス」を地域の皆さんと一緒に楽しくする企画をたくさん考えて行います。どのイベントにおきましても多くのボランティア様のご協力のもと行うことができます。この場をお借りし御礼申し上げますとともに、今後ご協力をお願い申し上げます。

社会福祉充実計画・・・社会福祉法人が保有する財産のうち、事業継続に必要な「控除対象財産」を控除してもなお残額が生じる場合に、「社会福祉充実残額」を明らかにした上で、社会福祉事業等に計画的な再投資を促すとともに、公益性の高い法人としての説明責任の強化を図るために策定するもの。

平成28年度法人方針

遠慮

1. 各事業 別紙報告

アクションプラン評価記号

= 予定通りに達成、 = やや達成不足、 × = 予定にほど遠い

2. 数字から見た運営

□平成28年度利用状況について

結果については、次頁以降に詳細内容を記していますが、主な事業の概要は下記のとおりであります。

ゆらくの里拠点においては、入所施設、グループホームと安定した利用が確保できる事業が行われており、法人の柱でもあります。しかし近年、この事業においても、高齢化や重度化が進み、入院される方やお亡くなりになられる方が増え、運営が不安定になることはありませんが、安定した収入が確保できない状態になりつつあります。より良い支援を行い、より安定した収入を確保するためにも安定必要人員の確保を進めて行き、余裕を持った支援が提供できるようにしていかなければなりません。また職員確保が実現すれば、短期入所や日中一時支援などの変動する収入源の増加にもつながります。

今人拠点においては、これまで繰り返し行われてきた右肩下がりの利用率に歯止めをかけることができたことで、新会計基準移行後初の資金収支差額金の黒字化が実現しました。今後は、ご利用契約者が定員を満たす状態の維持に努めるべく活動内容の充実を図っていかねばなりません。

地域拠点においては、各事業安定して収益を生む体制へと変わって来ました。しかし、ポノビル所有による借入金返済や修繕費用が発生することから当期資金収支差額においては、地域拠点の自力による運営ができません。更なる改善を望む一方で、ご利用者及び職員数が増加することでの問題も発生してきており、30年度以降の体制を考えていかねばなりません。

利用率

ゆらくの里（入所支援事業） 定員 60 名

	H28.3.31	増加	減少	H29.3.31		
				人数	平均年齢	平均年数
男	39	0	1	38	52.5	19.7
女	21	0	1	20	56.2	21.1
計	60	0	2	58	53.8	20.2

2名の減少は、いずれも死亡による退所

風鈴山荘（グループホーム）定員 14 名

	H28.3.31	増加	減少	H29.3.31		
				人数	平均年齢	平均年数
男	14	0	0	14	47.4	21.6
女	0	0	0	0	-	-
計	14	0	0	14	47.4	21.6

グループホームに移行された方の平均年数は、ゆらくの里での入所期間と通算した年数

今人

事業名	定員	H26年度 利用率	H27年度 利用率	H28年度	
				延べ人数	利用率
就労移行支援	10	55.8	60.2	1285	54.9
就労継続B型	10	33.5	36.0	825	35.8
生活介護事業	20	56.9	79.6	3454	75.7

就労移行事業は、平成27年度より定員を15名から10名に変更しております。

我楽

事業名	定員	H26年度 利用率	H27年度 利用率	H28年度	
				延べ人数	利用率
生活介護事業	15	69.9	106.7	3593	105.0
就労継続A型	10	68.2	67.6	1880	83.1
就労継続B型	10	75.6	92.0	1994	89.0

B型事業は、平成25年度より新規事業（定員10名）としてスタート

すみれの里

事業名	定員	H26年度 利用率	H27年度 利用率	H28年度	
				延べ人数	利用率
生活介護事業	20	51.7	68.5	3333	80.5
就労継続B型	10	53.1	55.4	1384	60.7

平成25年9月、香芝市の指定事業としてスタート（平成30年8月まで）

放課後等デイサービス

事業名	定員	H26年度 利用率	H27年度 利用率	H28年度	
				延べ人数	利用率
ゆらくの里デイ	10	60.0	47.8	1181	52.0
はぐらいぶ	20	77.2	74.1	3603	79.3

利用契約者数

地域各就労事業所の利用契約数は、一部事業においては、定員数に満たず、契約者数増加が最優先課題となってきます。

今人

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成28年4月1日	平成29年3月31日	
就労移行支援	10	3	7	0.70
就労継続B型	10	3	6	0.60
生活介護事業	20	16	17	0.85

我楽

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成28年4月1日	平成29年3月31日	
生活介護事業	15	17	18	1.20
就労継続A型	10	8	8	0.80
就労継続B型	10	11	11	1.10

すみれの里

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成28年4月1日	平成29年3月31日	
生活介護事業	20	20	21	1.05
就労継続B型	10	8	7	0.70

放課後等デイサービス

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成28年4月1日	平成29年3月31日	
コテージ	10	25	21	2.10
はぐらいぶ	20	60	62	3.10

短期入所及び日中一時支援事業

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成 28 年 4 月 1 日	平成 29 年 3 月 31 日	
短期入所	10	71	59	5.90
日中一時支援事業	10	67	60	6.00

□平成 28 年度職員状況について

28年度の法人全体実績は、正職員におきましては、増加8名、減少9名（うち、5名は27年度末退職者）となっております。増加の内訳は、新規雇用4名（うち新卒0名）パートからの契約変更が4名です。期中退職者4名のうち1名が児童課（結婚退職）、3名が就労事業（3名とも自己都合）となっており、ゆらくの里での退職者はおりませんでした。新卒採用ができなかったこと、不足職員の増員がパート職員からの契約変更が多数を占めていることから、即戦力として勤務いただいているものの、若手不足であること、実質人員の増加にはつながっていない事がわかります。

29年度4月より、新卒者が3名勤務いただいております。また今後も、新卒者の雇用を確実に行っていけるよう、学校訪問、リクナビの活用などを行って増員を図ります。

なお、我楽及びすみれの里のパート雇用者の増員による人員数増加及び維持が実現できております。

事業名	H28.3.31			H29.3.31										
	人数			人数			常勤 換算	平均勤続年数			平均年齢			
	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計	
ゆらくの里														
サービス管理責任者	2	0	2	2	0	2		8.3	6.5	7.5	38.6	44.5	41.3	
正職員	13	11	24	13	13	26	26.0							
パート職員	4	16	20	4	11	15	9.0							
計	19	27	46	19	24	43	35.0							
今人														
サービス管理責任者	0	1	1	1	0	1		3.5	5.9	4.7	35.0	35.7	35.4	
正職員	2	3	5	2	3	5	5.0							
パート職員	1	6	7	1	6	7	3.9							
計	3	10	13	4	9	13	8.9							
我楽														
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		4.0	5.9	4.6	39.2	46.3	41.6	
正職員	4	4	8	4	3	7	7.0							
パート職員	1	11	12	1	16	17	9.7							
計	6	15	21	6	19	25	16.7							
すみれの里														
サービス管理責任者	1	0	1	0	1	0		4.5	7.3	6.1	44.5	35.4	39.3	
正職員	3	4	7	3	2	5	5.0							
パート職員	2	8	10	3	10	13	5.6							
計	6	12	18	6	12	18	10.6							

事業名	H28.3.31			H29.3.31										
	人数			人数			常勤 換算	平均勤続年数			平均年齢			
	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計	
ゆらくの里デイ														
児童発達支援管理責任者	0	1	1	1	0	1		10.0	2.0	4.7	31.1	23.5	26.0	
正職員	0	1	1	0	2	2	2.0							
パート職員	1	0	1	1	0	1	0.7							
計	1	2	3	2	2	4	2.7							
はぐ・らいぶ														
児童発達支援管理責任者	1	0	1	0	2	2		-	4.6	4.6	-	33.0	33.0	
正職員	0	4	4	0	3	3	4.0							
パート職員	1	1	2	2	2	4	1.7							
計	2	5	7	2	7	9	5.7							
しえ〜く														
正職員	1	2	3	0	2	2	2.0		7.8	7.8		54.1	54.1	
パート職員	0	1	1	0	1	1	0.4							
計	1	3	4	0	3	3	2.4							
事業企画推進室														
正職員	1	0	1	1	0	1	1.0	5.0	-	5.0	55.1	-	55.1	
パート職員	-	-	-	-	-	-	-							
計	1	0	1	1	0	1	1.0	5.0	-	5.0	54.0	-	54.0	
のあ														
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		13.0	-	13.0	42.1	-	42.1	
正職員	0	0	0	0	0	0	-							
パート職員	0	7	7	0	7	7	2.9							
計	1	7	8	1	7	8	2.9							
そーる														
サービス提供責任者	1	0	1	1	0	1								
正職員	-	-	-	-	-	-								
パート職員（登録）	13	26	39	15	28	43								
計	14	26	40	16	28	44								
管理・厨房														
正職員	5	2	7	5	2	7		7.7	8.5	7.9	41.4	50.7	44.0	
パート職員	1	10	11	1	7	8								
計	6	12	18	6	9	15								
合計														
サービス管理責任者	7	2	9	7	3	10				7.0			40.9	
正職員	29	31	60	28	30	58								
パート職員	24	86	110	28	88	116								
計	60	119	179	63	121	184								

看護師は、ゆらくの里に含む

パート職員の常勤換算数は、簡易算出として給与支給計算期間の平成29年3月支給給与により算出しているため、あくまで参考である（常勤の月勤務時間数を165時間で計算）

A型事業所の就労職員は含んでいない

アルバイトは含んでいない

そーるのパート職員（契約）の中には、他事業の正職員及びパート職員が含まれ、延べ人数として表記している

のあのサービス管理責任者はしえ〜くの職員が兼務しているため、しえ〜くから除いている

□平成28年度残業について

平成28年度は、前年度程の伸びはないものの、時間及び金額は伸びています。伸びの要因は、ゆらくの里の人員不足による在籍職員の時間外勤務の増加に加え、高齢化及び重度化による支援度合いの増加によるものです。また今人拠点及び地域拠点は、時間及び金額において前年度を下回ったものの、一人当たりの月の勤務時間及び手当金額については、増加しました。これは正職員数が減少したことによる在籍職員一人一人の負担が増加したことを示しています。

正職員の適正人員の確保を優先に行い、1人1人の負担を軽減できるよう、29年度は定期的な新卒者の採用を行っていきけるよう取り組んでおります。

参考

各拠点に属する事業は以下のとおりであります。

ゆらくの里・・・・ゆらくの里、ゆらくの里デイサービス

今人・・・・今人、すみれの里、そら

地域・・・・しえ〜く、我楽、はぐらいつ、のあ、そ〜る

〔時間〕

単位：時間

拠点	H26年度	H27年度	H28年度			
			人	時間	増減率	1人/月
ゆらくの里	2942.00	4745.25	36	6224.75	+31.2%	14.40
今人	1287.75	1893.25	12	1472.75	22.2%	10.22
地域	1078.25	2211.50	15	1974.75	10.7%	10.97
計	5308.00	8850.00	63	9672.25	+9.2%	12.79

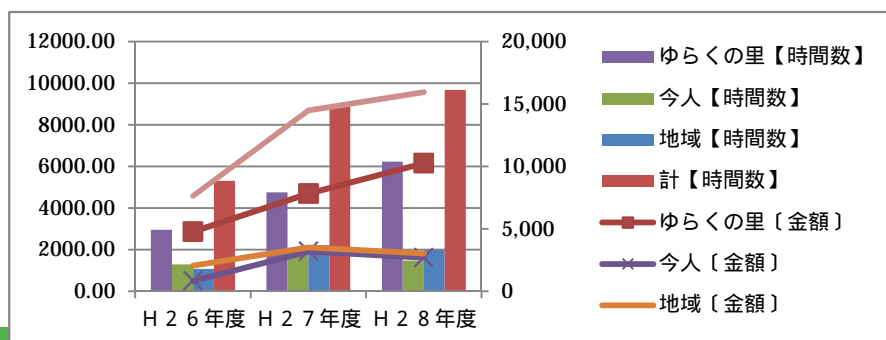
〔金額〕

単位：千円(1人当たりは円)

拠点	H26年度	H27年度	H28年度			
			人	金額	増減率	1人/月
ゆらくの里	4,752	7,810	36	10,237	+31.0%	23,697
今人	817	3,181	12	2,676	15.8%	18,589
地域	2,052	3,492	15	3,025	13.3%	16,809
計	7,622	14,484	63	15,939	+10.0%	21,084

ゆらくの里中には、直接支援者以外（管理、厨房など）の職員を含み、管理者は除く
集計は申請分のみ

平成29年3月31日在席の正職員が集計の対象



□平成28年度有給休暇取得について

ゆらくの里拠点は、28年度中にインフルエンザが流行したこと、職員数が不足傾向である中、体調を崩すものの人数も増加したことが原因と分析します。パート職員へは現在でもリフレッシュ休暇を支給することができていますが、正職員までには支給できておりません。

今人拠点においては、昨年度はインフルエンザが流行したこともあり増加しましたが、28年度は、大きな理由はありませんでした。正職員数が減少したため、一人あたりの取得日数は増加しましたが、半数以上の取得を特定の職員が取得した結果になります。取得理由は体調不良となっております。

地域拠点においては、特別な理由はありませんが、私用理由によるものが中心であります。

法人全体として有給休暇の取得は、基本として推進しておりますが、結果、比較的取得しやすい一部の事業、一部の職員に偏った取得結果となっております。なお、70名中20名(28.5%)の職員は、有給休暇の取得はありませんでした。

なお、政府が提案しております「年間5日の有給休暇取得の義務化」については、特定業界の反対もあり確定しておりません。

拠点	H26年度	H27年度	H28年度		
	取得日数	取得日数	人	取得日数	1人当たり取得日数
ゆらくの里	114.0	73.0	41	104.0	2.53
今人	44.0	49.0	12	47.0	3.91
地域	69.5	64.5	17	73.0	4.29
計	227.5	186.5	70	220.0	3.14

ゆらくの里の中には、直接支援者以外（管理、厨房など）の職員を含む

平成29年3月31日在席の正職員が集計の対象

1人当たりの取得日数は、取得日数を期末人数で除して計算

各事業の管理者を含む

期中に職員の異動があった職員は、期末の部署にて年間取得日数を計算

□平成28年度事業活動収入対人件費比率について

平成28年度の人件費比率は、前年度と比較し増減なく終えることとなりました。金額では、8.7%（37,143,491円）増の461,692,950円と大幅な増加となりましたが、収入を増加が実現でき、結果、比率を維持することができました。人件費の増加要因としましては、処遇改善加算への対応及び職員のモチベーションアップの一つとして、資格手当の充実を図りました。（前年比177.1% 7,382,500円/年）

29年度も新たな処遇改善加算が新設されたことで、長期雇用者に対して基本給の増加を図りました。人件費比率は増加する傾向にはあるものの、その資金（処遇改善加算）は人件費のための資金であるため、制度がある限り、制度に則り支給することとします。

ゆらくの里拠点

- ・人件費比率は、収入増加が伴い約60%で安定しております。人員確保できた場合も、時間外が減少することもあり、急激に増加することはないと考えます。

今人拠点

- ・一部事業の収入が増加したことで比率は減少しましたが、地域事業は、収入面が不安定であるため、活動面の見直しから安定させていかなければなりません。

地域拠点

- ・赤字事業が多い拠点であるため人件費比率が高くなっています。この拠点の事業運営の改善が法人全体の人件費比率を改善させ、更に法人全体の積立の実施が可能となります。

〔比率〕

拠点	H26年度	H27年度	H28年度	
			人件費率	前年度比較
ゆらくの里	58.4%	60.8%	60.4%	0.4%
今人	79.0%	75.0%	72.4%	2.6%
地域	90.2%	73.1%	75.4%	+2.3%
計	67.7%	66.2%	66.2%	±0.0%

人件費率算出において、事業活動収入から就労収入を控除した金額を分母として算出

〔金額〕

単位：千円

拠点	H26年度	H27年度	H27年度	
			人件費	前年度比較
ゆらくの里	216,119	229,692	243,856	+14,163
今人	72,122	87,226	89,691	+2,465
地域	95,188	107,630	128,145	+20,514
計	383,430	424,549	461,692	+37,143

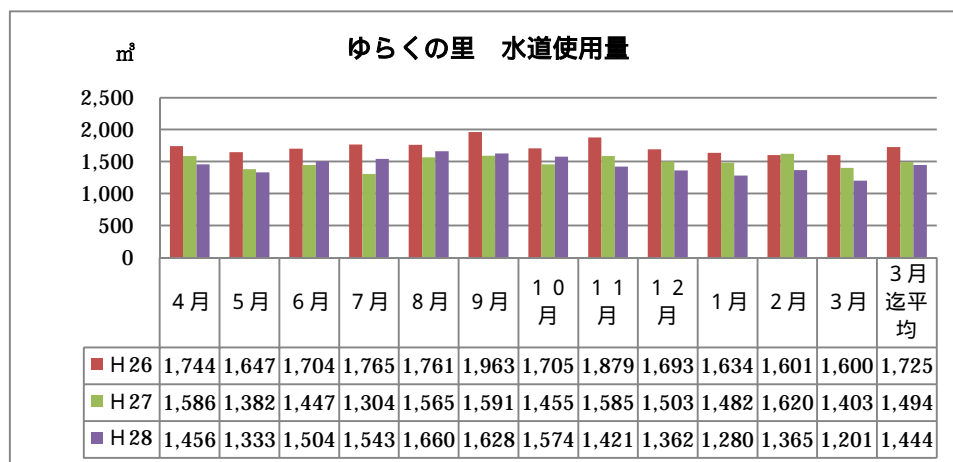
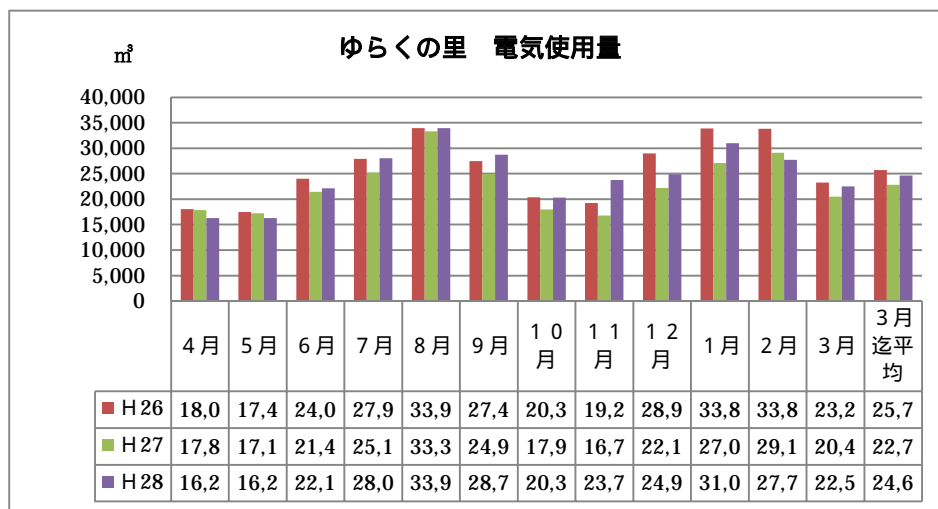
□平成28年度光熱水費について

各事業、光熱水費への節約努力は継続できております。28年度の対応としては、一部の事業所の電気契約を関西電力以外の事業者へ切り替え、電気使用料以上に料金を下げることにつながりました。

ゆらくの里拠点

数年前より、無駄をなくす対応は継続して実施。結果、毎年度十分な節約につながっています。電気会社を変更した事業所の一つであり、十分な効果が出ております。

	平成27年度	平成28年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	7,504千円	6,786千円	108.4%	90.4%
水道	5,673千円	5,567千円	96.7%	98.1%

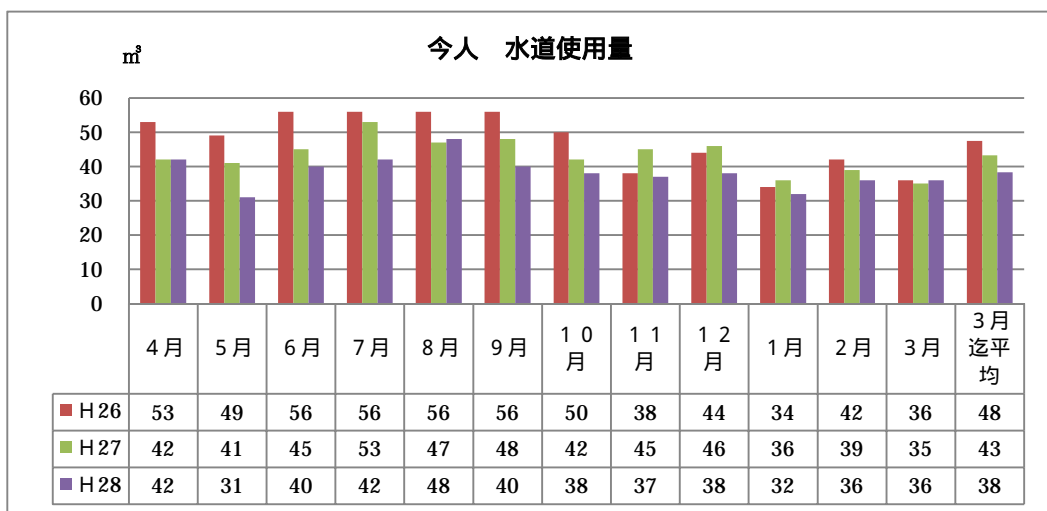
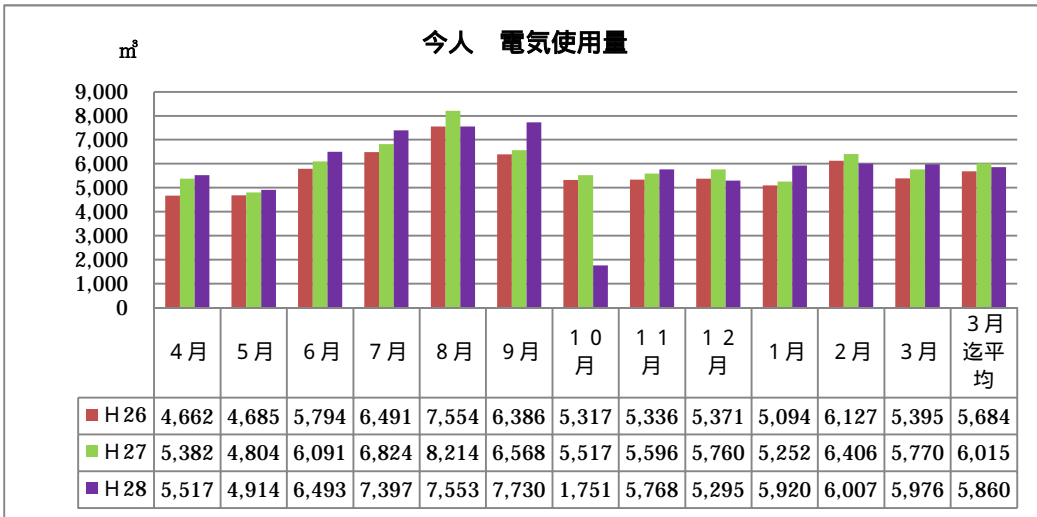


今人拠点（今泉）

毎年コンスタントに無駄をなくし節約につながっております。電気会社を変更した事業所の一つで、締日変更の関係で10月のみ大幅に減少したことで、トータルでの圧縮となりましたが、個々の月を見ると大きな変化が窺えない。パン製造等もあるため、現状維持ができる取り組みを続けていくこととなります。

参考：パンの販売売上高前年度比較・・・119.0%

	平成 27 年度	平成 28 年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	1,841 千円	1,670 千円	97.4%	90.7%
水道	109 千円	932 千円	88.6%	85.0%

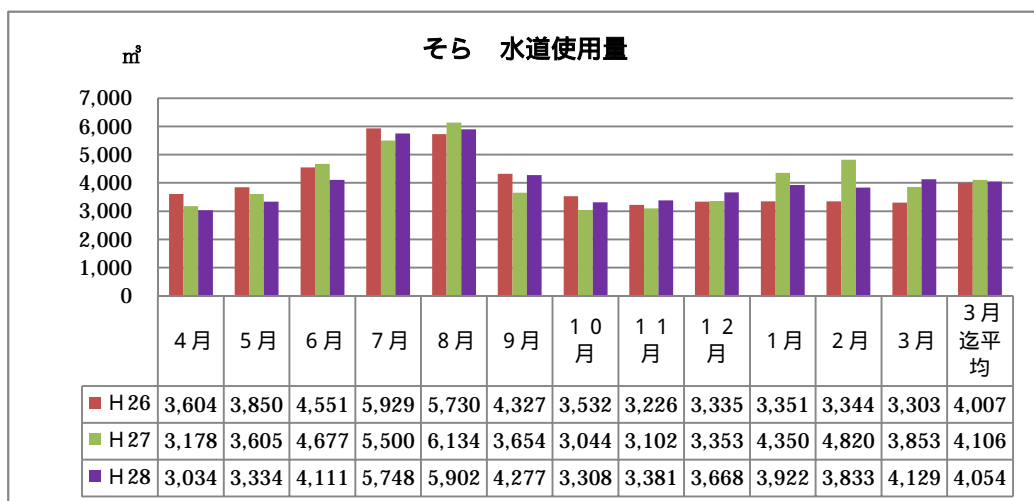
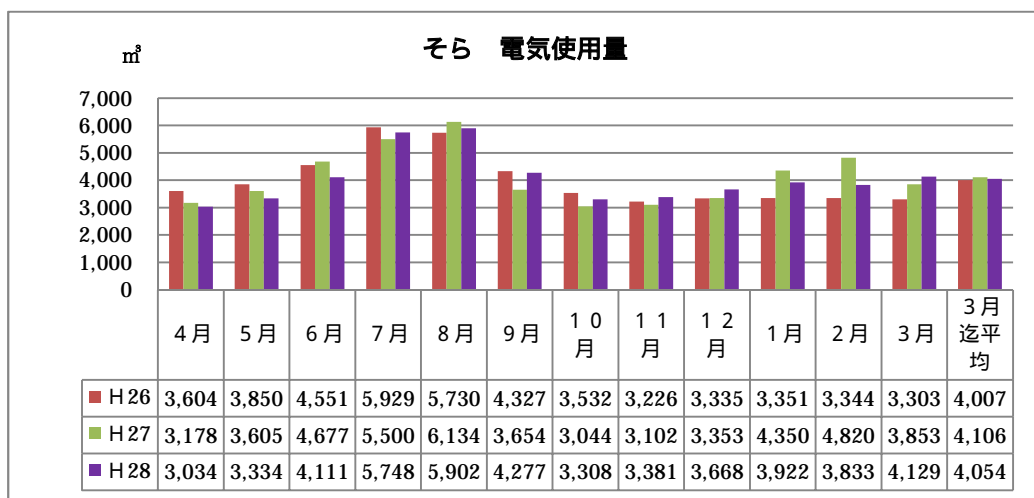


そら（福祉センター内）

前年度と比較しても大きな変化はない。店の売上が 4.4%減少していることから減少率が低い。

参考：食堂売上高前年度比較・・・95.6%

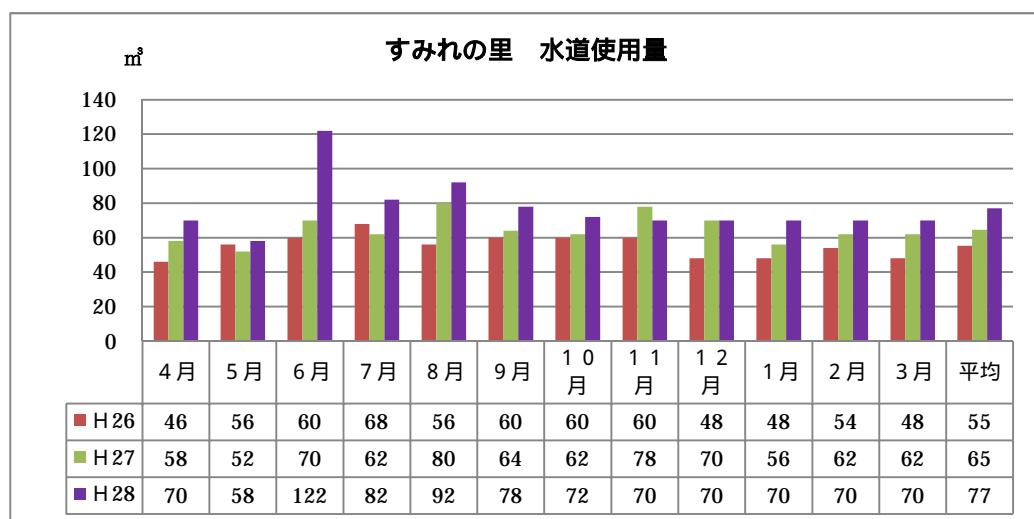
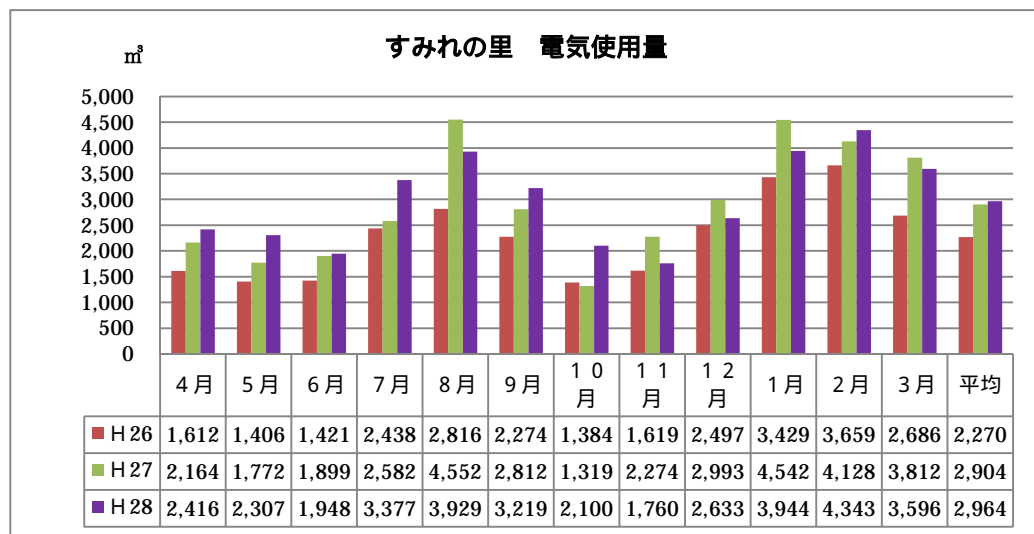
	平成 27 年度	平成 28 年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	749 千円	740 千円	98.7%	98.7%
水道	574 千円	572 千円	99.5%	99.5%



すみれの里（香芝市委託事業）

電気使用量は、季節要因により増減が激しい状況です。建物の構造上、ご利用者への配慮が最優先で使用している現状であります。また水道料については、畑の水の使用次第により増加傾向にあります。

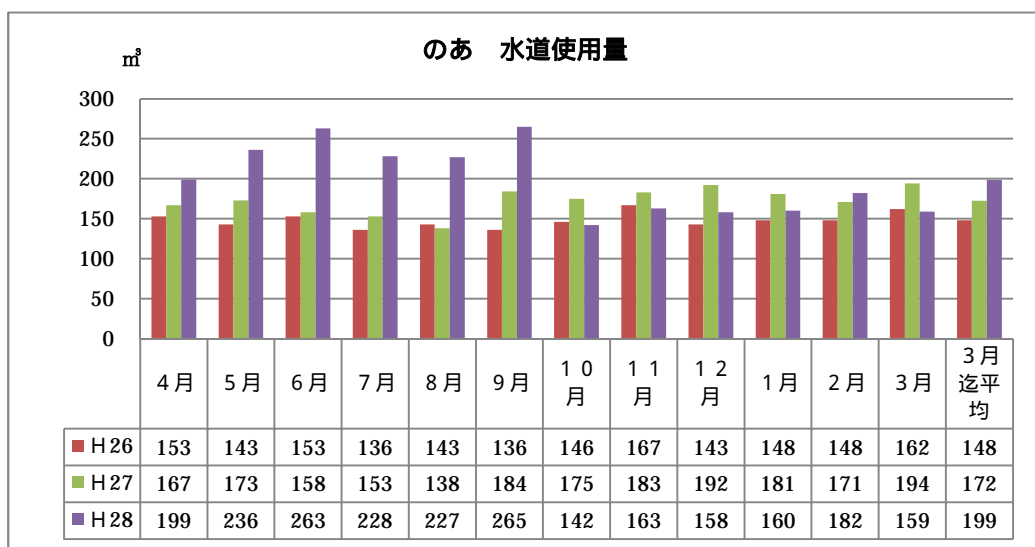
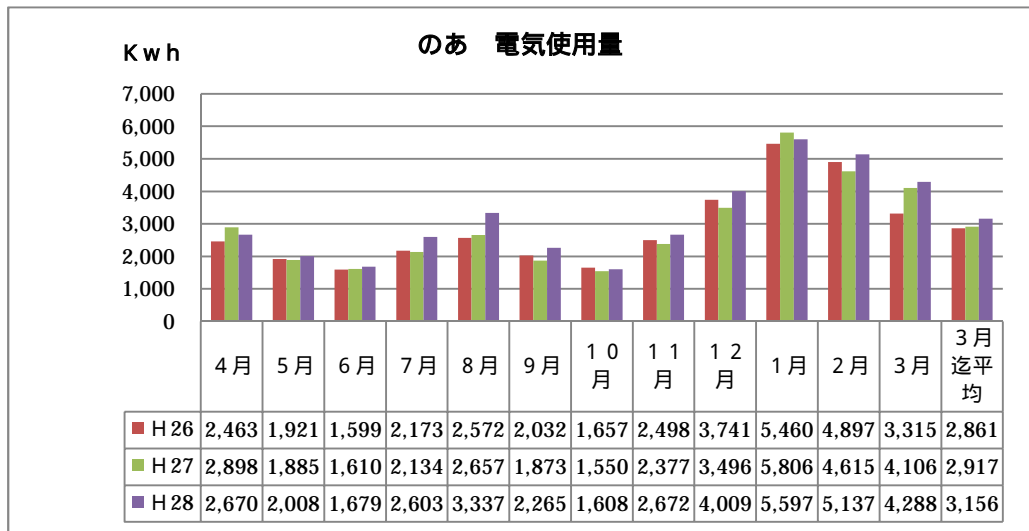
	平成 27 年度	平成 28 年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	1,118 千円	1,108 千円	102.0%	99.1%
水道	574 千円	574 千円	119.0%	110.9%



のあ（穴虫 グループホーム）

水道に関しては、水漏れしている状態が続き、結果使用量が増加した。建物全体の設備の劣化もあるため、設備の点検等を定期的に行い、家主と改修のための協議が必要であります。

	平成 27 年度	平成 28 年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	990 千円	991 千円	108.2%	100.1%
水道	357 千円	438 千円	115.1%	122.9%

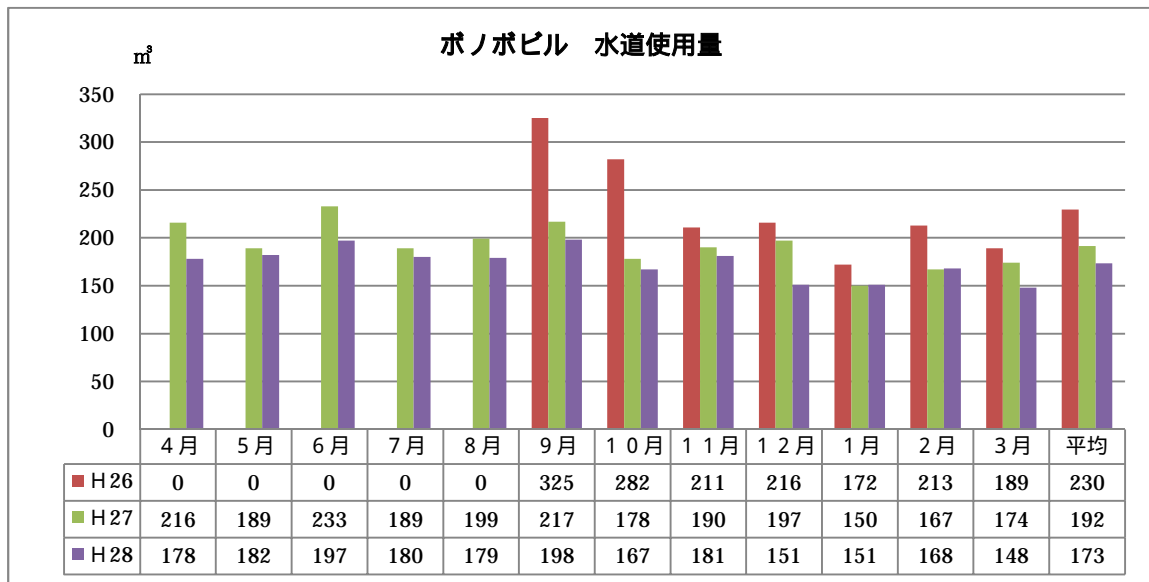
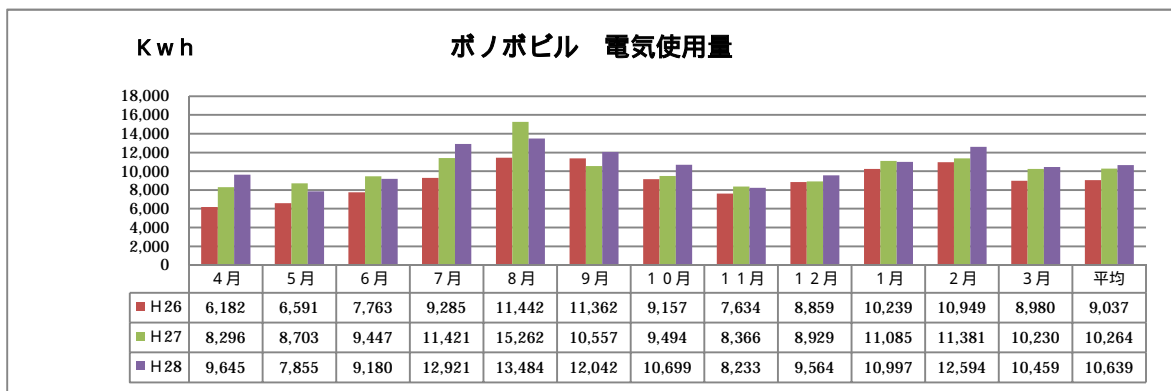


ボノビル（磯壁 地域拠点）

電気代は、ほぼすべての月で毎年増加している傾向があります。売上の減少率と比較した場合、十分な売上に効果的には結びついていません。

参考：カフェ及びクッキー売上高前期比・・・89.8%

	平成 27 年度	平成 28 年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	4,232 千円	4,089 千円	103.7%	96.6%
水道	464 千円	409 千円	90.5%	88.2%



□平成28年度就労支援施設の就労金について

工賃総額は108.7%増と前年度より増加幅は低くなったものの、まだまだ大きく伸びております。地域のご利用者が増加する現状において、今後も増加していくこととなります。28年度は、A型事業（そら）の利用者が2名増加したことで、支給総額は前年度比118.8%となり工賃全体の約半分を占める結果となりました。最低賃金の上昇幅が大きく、A型の事業所運営に大きな影響となります。

各事業における1人1カ月当たり支給の工賃（賃金）

（単位：円）

	平成27年度		平成28年度	
	工賃総額	1人当たり/月	工賃総額	1人当たり/月
今人				
就労移行	800,469	8,796	856,423	10,979
就労継続B型	868,985	14,015	788,697	12,929
生活介護	2,283,451	10,426	2,290,847	12,450
計	3,952,905	10,626	3,935,967	12,185
我楽				
就労継続A型	6,127,312	72,086	7,284,389	69,375
就労継続B型	2,651,414	19,786	2,654,518	21,067
生活介護	592,520	2,890	584,312	2,892
計	9,371,246	22,101	10,523,219	26,373
すみれの里				
就労継続B型	345,410	4,544	403,080	5,677
生活介護	-	-	-	-
計	345,410	4,544	403,080	5,677
合計	13,669,561	15,515	14,862,266	17,971

各事業の就労収入に占める工賃（賃金）割合

	平成27年度	平成28年度
今人		
就労移行	29.3%	32.2%
就労継続B型	27.3%	27.9%
生活介護	22.1%	20.4%
計	24.3%	23.6%
我楽		
就労継続A型	42.7%	53.1%
就労継続B型	11.5%	12.8%
生活介護	691.4%	584.7%
計	25.0%	30.5%
すみれの里		
就労継続B型	27.7%	36.5%
生活介護	- %	- %
計	27.7%	36.5%
合計	24.9%	28.3%

就労収入には、内部売上を含む

□平成28年度固定資産の推移について

平成28年度は、実施した案件でも国や県の助成金を活用する等、費用発生額は、できる限り抑えることができました。抑えた分、28年度は、30,400,000円の積立を実施し、ゆらくの里の建替、風鈴山荘やボノビルの改修費用に充てられます。

取得一覧（100万円以上のもの）

単位：円

内容	金額	事業
【建物】 ボノビル 勾配屋根改修工事	1,890,000	我楽（生活介護）
【構築物】 ゆらくの里 門扉	2,494,800	ゆらくの里（入所）
【器具備品】 ゆらくの里 防犯対策機器	2,494,800	ゆらくの里（入所）
【器具備品】 今人 デッキオープン	1,681,020	今人（生活介護）
【リース資産】 本部 公用車（マツダCX-3）	3,304,800	本部

参考

平成28年度において、4件の借入金が残っております。ここ数年実施して来た大型の設備投資によるものであり、まだ最長で19年の期間、支払いが継続されます。

平成28年度末の借入残高及び今後の返済計画は以下のとおりであります。

単位：千円

借入事項	借入期間	借入残	返済計画				
			H29	H30	H31	H32	H33
カフェ内装工事資金	10	11,984	2,004	2,004	2,004	2,004	2,004
ボノビル購入資金	10	58,656	8,004	8,004	8,004	8,004	8,004
風鈴山荘購入資金	20	135,000	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
運転資金	3	20,004	9,996	10,008	-	-	-
計		225,664	27,504	27,516	17,508	17,508	17,508
支払利息			2,042	1,823	1,629	1,436	1,267
5年間の合計支払利息			8,197				

□平成28年度修繕費の推移について

1. 過去2年間の推移

修繕費は、27年度の約75%に減少しました。必要な事項に限り実施となりました。内訳として主なものは、ポノビル防水改修工事(1,404,000円)となっております。29年度も28年度同様程度の金額発生を予定しております。

拠点	処理科目	平成27年度	平成28年度
ゆらくの里	事務費	6,538千円	3,456千円
今人	事業費	-千円	169千円
	事務費	851千円	523千円
	製造原価	143千円	84千円
地域	事業費	-千円	193千円
	事務費	3,615千円	3,907千円
	製造原価	45千円	147千円
合 計		11,194千円	8,482千円

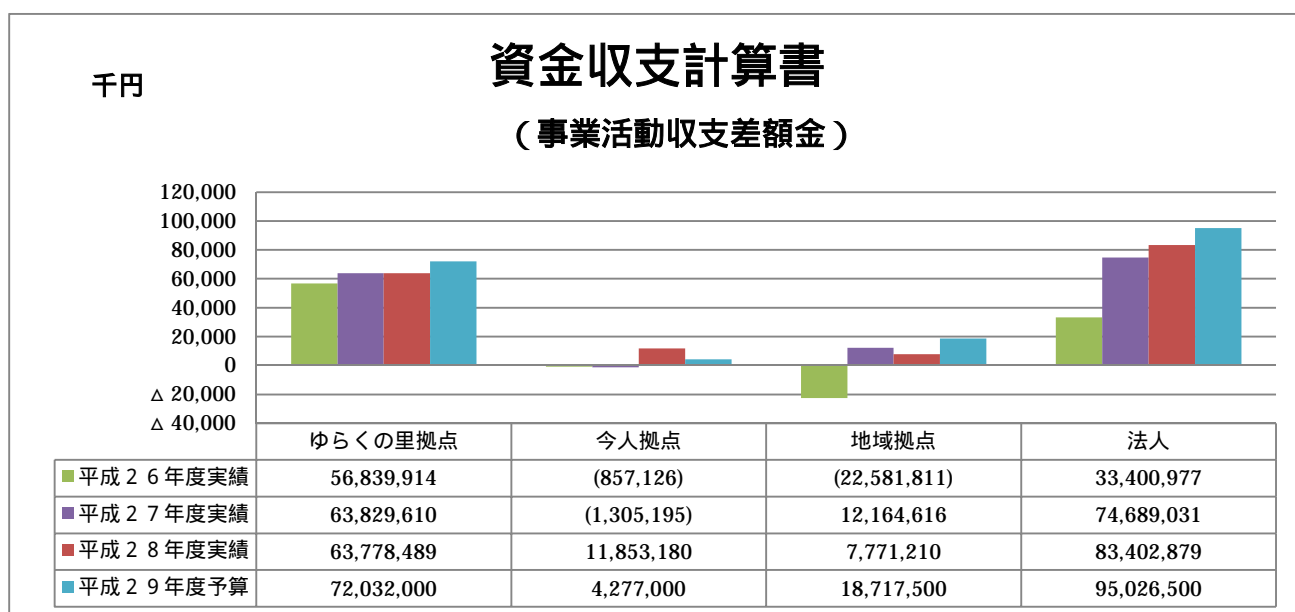
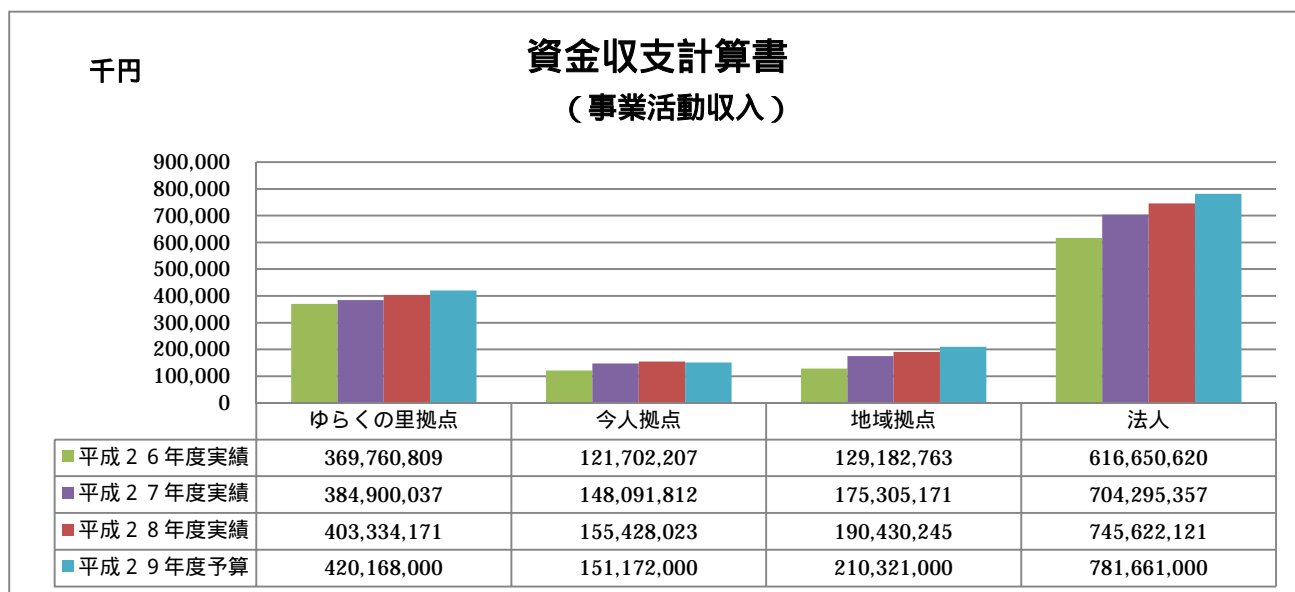
処理科目とは、修繕費用のうち、製造原価に反映させるものは「製造原価」、その他の修繕費用は「事業費」「事務費」で処理しております。

2. 修繕事業別内訳

分類	ゆらくの里	今人	地域	計
水回り(機械含む)	728,665	-	1,726,337	2,455,002
ガラス	333,241	15,412	-	348,653
公用車	444,224	519,054	340,514	1,303,792
その他設備	1,950,315	181,351	2,063,417	4,195,083
就労設備	-	62,252	117,698	179,950
計	3,456,445	778,069	4,247,966	8,482,480

□平成28年経営成績について

平成28年度は、各事業にて実施している事項の見直しを図り、取得可能な加算を申請しました。結果、事業活動収入は3拠点ともに増加、事業活動収支差額金も3事業ともに黒字化しました。ここ数年赤字運営であった各就労施設においても実利用率が向上し黒字化することができました。しかし借入金返済や設備投資を差し引きした場合、約半数の11事業（本部を含む21事業中）において当期資金収支差額において不足（赤字）での運営となりました。この赤字運営がなくなる限り、十分な資金増にはつながらず、ゆらくの里の建替資金や新規事業の実施に結びつきません。



拠点別報告

1. 法人全体として

事業活動収入および事業活動収支差額は、前年度実績及び当初予算と比較して大幅な増加となりました。各事業、取得可能な加算の申請による増加ができたことが大きな要因であります。またその増加で、人件費（給与規程）の増加も補うことができました。なお事業ごとで見た場合、21事業（本部を含む）中8事業で赤字となっており、年度中の改善対応が十分に行えなかった結果の事業もあります。

また当期活動収支差額までを見た場合、積立等も行っているものの設備等車や借入金返済等を行うと、ほぼ残らない状況であり、十分な余裕のある結果ではありませんでした。

資金収支赤字事業：ゆらくの里デイ、日中一時事業、今人就労継続B型、今人生活介護、我楽A型（そら）、すみれの里就労継続B型しゅーく、我楽就労継続B型

《事業活動収支》

単位：千円

	H27	H28	増減差	H28 予	予実差
事業活動収入	704,295	745,622	41,326	720,953	24,669
事業活動支出	629,606	662,219	32,612	643,625	18,593
事業活動収支差額	74,689	83,402	8,713	77,327	6,075

「H28予」とは平成28年度当初予算を指します。（以下同じ）

《事業活動収入》

単位：千円

	H27	H28	増減差	H28 予	予実差
就労事業収入	50,887	48,761	▲2,126	50,040	▲3,278
福祉サービス	628,831	682,331	53,500	663,078	19,253
その他	24,575	14,529	▲10,045	5,835	8,694
計	704,295	745,622	41,326	720,953	24,669

《事業活動支出》

単位：千円

	H27	H28	増減差	H28 予	予実差
人件費	424,549	461,692	37,143	453,023	8,669
事業費	88,167	92,632	4,465	90,584	2,048
事務費	48,107	51,477	3,369	39,949	11,528
就労支援支出	52,924	50,503	▲2,421	52,529	▲2,025
その他	15,857	5,913	▲9,943	7,540	▲1,627
計	629,606	662,219	32,612	643,625	18,593

2. ゆらくの里拠点

《事業活動収支》

28年度は、若干のマイナスとなりました。収入が大きく伸びたものの、人件費アップを賄いきれませんでした。また高齢化、重度化によるご利用者の入院が多発しており、マイナス要因も抱えた状況であります。

単位：千円

	H27	H28	増減差	H28 予	予実差
事業活動収入	384,900	403,334	18,434	391,653	11,681
事業活動支出	321,070	339,555	18,485	324,974	14,581
事業活動収支差額	63,829	63,778	51	66,678	2,899

《事業活動収入》

事業活動収入は、福祉サービスにおいて、「1.7:1」の人員配置加算を算定できる状況となったことなど増加要因となりましたが、上記で記載したとおり、マイナス要因を抱えているため、29年度の収入増はあまり見込めないと予想されます。

単位：千円

	H27	H28	増減差	H28 予	予実差
就労事業収入	-	-	-	-	-
福祉サービス	366,753	390,014	23,261	386,611	3,403
その他	18,146	13,319	4,827	5,042	8,277
計	384,900	403,334	18,434	391,653	11,681

《事業活動支出》

28年度も給与規程の変更を行いました。その影響もあり人件費が大幅に増加しております。ただし、増加分は「処遇改善加算」により埋め合わせができており、人件費比率は増加傾向にあるものの赤字を生む要因とはなっておりません。

単位：千円

	H27	H28	増減差	H28 予	予実差
人件費	229,692	243,856	14,163	234,055	9,801
事業費	64,253	65,722	1,468	65,099	623
事務費	22,938	25,616	2,678	20,484	5,132
就労支援支出	-	-	-	-	-
その他	4,185	4,360	175	5,336	975
計	321,070	339,555	18,485	324,974	14,581

3. 今人拠点

《事業活動収支》

新会計基準に移行した平成25年度以降、初めて事業活動収支差額金が黒字化しました。改善傾向にあるものの、まだ改善の余地があること、次年度以降のことを早期に考えていかなければならないことなど課題が残ります。

単位：千円

	H27	H28	増減差	H28 予	予実差
事業活動収入	148,091	155,428	7,336	156,417	988
事業活動支出	149,397	143,574	5,822	148,958	5,383
事業活動収支差額	1,305	11,853	13,158	7,459	4,394

《事業活動収入》

福祉収入は、利用率の増加により約6.5%の増加につながりましたが、就労収入が減少傾向にあります。大きなものとしてはA型「そら」の食堂売上であり、運営面での改善が早期課題であります。

単位：千円

	H27	H28	増減差	H28 予	予実差
就労事業収入	31,904	31,650	254	34,900	4,855
福祉サービス	115,475	123,055	7,580	121,031	31,654
その他	711	722	10	486	236
計	148,091	155,428	7,336	156,417	988

《事業活動支出》

正職員雇用数の減少による人件費の伸びが他拠点と違い鈍かったこと、前期には、新会計移行後の不明残高の整理(9,182,410円)がなくなったことで費用は減少しました。一方で、就労収入が減少したにもかかわらず、就労原価が増加し事は今後の課題となります。

単位：千円

	H27	H28	増減差	H28 予	予実差
人件費	87,226	89,691	2,465	93,876	4,184
事業費	6,913	8,272	1,359	7,749	523
事務費	14,134	13,576	558	12,318	1,258
就労支援支出	30,714	31,557	842	34,475	2,917
その他	10,409	477	9,931	540	62
計	149,397	143,574	5,822	148,958	5,383

4. 地域拠点

《事業活動収支》

前年度に続き黒字化しましたが、前年度比 36.1%の減少となりました。収入が増えたものの人件費を吸収することができなかった結果であります。

単位：千円

	H27	H28	増減差	H28 予	予実差
事業活動収入	175,305	190,430	15,125	177,583	12,847
事業活動支出	163,140	182,659	19,518	173,728	8,931
事業活動収支差額	12,164	7,771	4,393	3,855	3,916

《事業活動収入》

福祉収入が大幅に改善され、現状を維持できるのであれば、各事業黒字化が可能な範囲となってきます。一方、就労収入が減少しました。カフェの売上がピークを過ぎたと考えられます。大幅な減少につながらないよう改善が必要であります。

単位：千円

	H27	H28	増減差	H28 予	予実差
就労事業収入	22,985	20,681	2,303	21,840	1,158
福祉サービス	146,602	169,261	22,658	155,436	13,825
その他	5,717	487	5,229	307	180
計	175,305	190,430	15,125	177,583	12,847

《事業活動支出》

人件費が大幅に増加しました。(19.0%増)人員配置増による増加であります。この増加が福祉収入増加に直結していると考えられます。適正人員であれば問題ないと考えます。就労原価は収入減に伴う減少であります。

単位：千円

	H27	H28	増減差	H28 予	予実差
人件費	107,630	128,145	20,514	125,092	3,053
事業費	19,795	20,779	984	20,251	528
事務費	11,804	13,207	1,403	8,297	4,910
就労支援支出	22,647	19,451	3,196	18,424	1,027
その他	1,262	1,074	187	1,664	589
計	163,140	182,659	19,518	173,728	8,931

5. 就労事業活動

活動別収入

各作業の売上は以下の通りであります。

単位：千円

活動名		H27 年度	H28 年度	増減	
今人	ふえりーちえ(パン)	13,553,056	13,943,555	390,499	102.8%
	そうじや(掃除)	2,375,357	2,344,559	▲30,798	98.7%
	内職	303,822	371,449	67,627	122.2%
	計	16,232,235	16,659,563	102.6%	105.4%
我楽	レストラン	14,336,939	13,702,299	▲634,640	95.5%
	菓子	3,975,628	3,578,375	▲397,253	90.0%
	カフェ	18,977,632	17,022,442	▲1,955,190	89.6%
	内職	85,696	99,922	14,226	116.6%
	計	37,375,895	34,403,038	▲2,972,857	92.0%
すみれ	BDF	906,552	628,619	▲277,933	69.3%
	畑	338,670	473,100	134,430	139.6%
	内職	113,070	186,470	73,400	164.9%
	計	1,358,292	1,288,189	▲70,103	94.8%
合計		54,966,422	52,350,790	▲2,615,632	95.2%

内部売上を含むため、他の資料と合計金額が異なる。

活動別収支

各作業の収支は下記の通りであります。

単位：千円

活動名		売上	経費	利益	利益率
今人	ふえりーちえ(パン)	13,943,555	3,378,180	4,111,288	29.4%
	そうじや(掃除)	2,344,559	1,986,351	389,006	16.5%
	内職	371,449	786,497	415,048	-
	計	16,659,563	12,409,744	4,249,819	25.5%
我楽	レストラン	13,702,299	16,297,348	1,960,409	-
	菓子	3,975,628	5,534,028	1,558,400	-
	カフェ	17,022,442	14,928,370	2,094,072	14.0%
	内職	99,922	584,312	484,390	-
	計	34,403,038	38,714,364	4,311,326	-
すみれ	BDF	628,619	1,302,027	673,408	-
	畑	473,100	540,231	67,131	-
	内職	186,470	76,187	110,283	59.1%
	計	1,288,189	1,918,445	630,256	-
合計		52,350,790	53,042,553	691,763	-

活動経費（原価）率

各作業の原価内訳は下記の通りであります。

単位：千円・%

活動名		材料費		労務費		経費		計
今人	ふえりーちえ(パン)	3,996,240	28.6	2,457,847	17.6	3,378,180	24.2	9,832,267
	そうじや(掃除)	0	-	1,044,587	44.5	746,393	31.8	1,790,980
	内職	0	-	433,533	116.7	352,964	95.0	786,497
	計	3,996,240	23.9	3,935,967	23.6	4,477,537	26.8	12,409,744
我楽	レストラン	5,972,464	43.5	7,284,389	53.1	4,444,432	32.4	17,701,285
	菓子	1,274,981	35.6	1,609,569	44.9	2,615,847	73.1	5,500,397
	カフェ	7,961,074	46.7	1,044,949	6.1	5,922,347	34.7	14,928,370
	内職	0	-	584,312	584.7	0	-	584,312
	計	15,208,519	44.2	10,523,219	30.5	12,982,626	37.7	38,714,364
すみれ	BDF	0	-	95,295	15.1	1,206,732	191.9	1,302,027
	畑	0	-	307,785	65.0	232,446	49.1	540,231
	内職	0	-	0	-	76,187	40.6	76,187
	計	0	-	403,080	31.2	1,515,365	117.6	1,918,445
合計		19,204,759	36.6	14,862,266	28.3	18,975,528	36.2	53,042,553

外注加工賃（外注仕入）は、材料費に含む。

割合は、対売上高比率

就労事業全体

全活動の収入は、前年度より 4.7%減の 52,350,790 円となりました。規模の大きな活動においては、今人のパン事業のみ増加で、その他事業はマイナスとなりました。過去と比較すると著しい減少である活動もありますが、各活動における人件費が表わす通り、職員はピークの業務を行っております。活動の改善や新たな活動の創出等、大きく変えていかなければならない時期であります。

レストラン事業〔我楽：A型事業 ふれあいキッチン「空・SORA」〕

売上は減少しました。要因として集客力の減少にあります。平成 28 年度より香芝市の循環バスが有料化したことで、福祉センターへ来られる方が減少したものと想像、影響はあります。一方で、最低賃金の増加による賃金の増加が就労原価を圧迫しています。平成 29 年度には、A 型事業の賃金に関する支給ルールが変わりました。さらに運営が難しくなっておりますが、適正な判断をして運営を行っていきます。

パン事業〔今人：生活介護事業など ふえりーちえ〕

28 年度、主要な活動において唯一前年度増になった活動です。オープンも新調し、ご利用者の方が製造するラスクなども増産できる体制となりました。29 年度は、更に製造力と販売力を挙げていける活動であります。

掃除事業〔今人：就労移行支援事業ほか そーじや〕

直接一般就労につながりやすく、力を入れていかなければならない活動です。現状特定の相手先のみであり、収入増は望めません。

内職班〔今人：生活介護事業ほか〕

一定以上の収入になる活動量はありますが、就労ではなく訓練の一つとしての活動であり、目的意識をもって取り組んでいきます。

製菓事業〔我楽：就労継続B型事業 スウィートファクトリー モンステラ〕

大口の固定販売先がないため、過去のような売上は上がりませんが、ご利用者の活動範囲は増え、上達しております。

カフェ事業〔我楽：就労継続B型事業 ナチュラルカフェ モンステラ〕

売上は、前年度を大きく下回りましたが、職員努力はそれに反比例して増加しております。バランスよく運営することを29年度は行っていかなければなりません。

モンステラファーム〔すみれの里：就労継続B型事業〕

今年度も、季節に合わせタスの野菜を栽培して販売しました。年々売上も上がっていき、それに伴い、ご利用者の活動も増えております。更なる相乗効果を図ります。29年度は、麦の栽培を目標に取り組んでいきます。斑鳩に畑を借り、進めていく予定であります。

環境班〔すみれの里：就労継続B型事業〕

廃食油から製造するバイオ燃料の販売先（香芝市等）がなくなったことから、活動としては廃食油や廃品回収の販売が中心となっております。過去の活動の清算を検討しながらも、現状の活動を有効に実施していかなければなりません。

なお、助成金にて設備を導入したため、償却期間が終了（平成31年末）までは、同事業を終了することもできず費用を負担して継続しなければなりません。

内職班〔すみれの里〕

ご利用者の機能訓練の活動として一部導入しました。ご利用者にとって、わかりやすい作業であったため、作業分担や個人の作業能力の向上が図れる事ができました。今後は、作業目標を持って取り組んで行くことも検討しております。

□平成28年度経営成績について

安全性比率

名称	分析の目的	H27 H28.3.31	H28 H29.3.31
純資産比率	総資産のうち自己資金で賄えている割合を測定する。	79.3%	79.1%
流動比率	短期に支払いを要する債務に対する支払い準備資産の割合を測定する。	458.5%	288.9%
当座比率	短期に支払いを要する債務に対する支払準備の現金預金の割合を測定する。	177.7%	113.6%
固定長期適合率	固定資産に投入された長期資金の割合を測定する。	87.7%	88.4%
現金預金保有率	総資産に占める現金預金の割合を測定する。	11.3%	14.2%
未収金回転期間	事業収入が現金化されるのに何か月要しているかの期間	2.04月	2.07月
未払金回転期間	何カ月分の経費支払いが残っているかを示す指標	0.67月	0.98月
減価償却累計比率	償却資産の使用程度を把握する。	34.5%	34.5%

当年度減価償却累計比率算定するための固定資産には、土地が含まれております。

多くの指標において、ほぼ横ばいの結果となっております。賞与引当金を計上した事で、会計上、流動負債が増加したため、「流動比率」及び「当座比率」が減少しましたが、資金の運用等については、特別変わりがなく、問題視することはありません。

収益性比率

名称	分析の目的	H27 H28.3.31	H28 H29.3.31
事業活動資金収支差額比率	事業活動の資金収支上の収益力を測定する。	10.9%	11.3%
人件費比率	経常活動の収益力に人件費が及ぼしている影響を測定する。	62.0%	65.6%

収益性比率の各指数も前年度とあまり大きな変化はありません。収入を増加させることは、かなり難しくなっている中、収支差額の向上(=経費の減少)を図っていかねばなりません。

成長性比率

名称	分析の目的	H27 H28.3.31	H28 H29.3.31
事業活動収入増加率	前年同月比での成長率を測定し、傾向を把握する。	111.0%	108.3%
人件費増加率		110.6%	114.5%
事務費増加率		99.4%	107.0%
事業費増加率		95.4%	105.1%
事業活動収支差額増減率		223.6%	111.7%

成長性の各指数も大きな変動はありません。「事業活動収支差額増減率」においては、前期の増加率が大きすぎただけであり、半減したとは言え、28年度の成長も10%を超えていることは評価できることであります。

生産性比率

名称	分析の目的	H27 H28.3.31	H28 H29.3.31
総資産回転率	資産利用の効率性を測定する。	52.5%	55.7%
職員1人当たりの 経常活動収入	職員1人が生み出す経常活動資金収入の額を測定する。	9,571千円	10,071千円
利用者1人当たり 人件費	利用者一人当たりにかかる人件費の額を測定する。	7,487円	10,132円
職員1人当たりの 人件費	職員一人当たりにかかる人件費の額を測定する。	6,461千円	7,175千円
職員1人当たりの 利用者数	職員1人当たりが担当する利用者数を測定する。	143.9人	118.0人
労働生産性	職員1人が生み出す付加価値の額	7,407千円	7,989千円
労働分配率	生み出された付加価値が、人件費に分配された割合を測定する。	87.2%	89.8%

「職員1人当たりの利用者数」を除き、その他の職員には、間接職員を含み、パート職員、アルバイト職員は除く。

人件費は、簡易に計算ができるため非常勤給与も含む。

年間利用延べ人数には、そーる、しゅーくの利用者を含んでいない。(総数にあまり影響がないため)

ほぼすべての指標で増加しております。これは収入が増加している中で正職員数が減少(増えていない)していることが要因であります。適正な数字となったのか、職員1人1人の負担が増え、職員に負荷がかかったことを意味するのかは、現状この指標だけでは判断できません。

□資金残高について

資金（預金残高）の推移について

1．ゆらくの里拠点・地域拠点

	平成 25 年 3 月 31 日	平成 26 年 3 月 31 日	平成 27 年 3 月 31 日	平成 28 年 3 月 31 日	平成 29 年 3 月 31 日
実残高	107,033,895	71,275,512	92,945,427	119,240,492	151,377,738
積立	88,280,000	38,280,000	38,280,000	58,100,000	85,500,000
-----	-----	-----	-----	-----	-----
会計上残	18,753,895	32,995,512	54,665,427	61,140,492	65,877,738
前期 比較	22,737,772	35,758,383	21,669,915	26,295,065	32,137,246

前期比較は、預金実残高で比較

借入金の返済（28,824 千円）実施後で 30,000 千円の増加は、良い結果であるが、手持ち資金があまり増加していない。現状の積立額以上が実施できて、手持ち資金にも余裕が出るよう、赤字事業の改善が必要であります。

2．今人拠点

	平成 24 年 3 月 31 日	平成 25 年 3 月 31 日	平成 26 年 3 月 31 日	平成 27 年 3 月 31 日	平成 28 年 3 月 31 日
実残	31,197,721	64,522,040	44,457,725	26,442,409	37,954,166
積立	8,850,000	9,650,000	12,245,000	12,030,000	16,040,000
-----	-----	-----	-----	-----	-----
会計上残	22,347,721	54,872,040	32,212,725	14,412,409	21,914,166
前期 比較	1,405,192	33,324,319	20,064,315	18,015,316	11,511,757

実残額の増加は、今後の事業展開の幅を作り良い傾向となりました。事業の利用率改善を継続的に進めていけるよう取り組んでいきます。

積立金の使用目的について

現在の積立残高は以下のとおりであります。

科目	ゆらくの里	今人	地域	計
施設整備等積立金	71,200,000	3,000,000	13,200,000	87,400,000
工賃変動積立金	-	2,295,000	100,000	2,395,000
設備等整備積立金	-	10,745,000	1,000,000	11,745,000
計	71,200,000	16,040,000	14,300,000	101,540,000

28年度は積立を毎月行い、「必ず実施」が実現できました。また、予定を上回り収支差額金を残すことができたことから、地域の事業においても実施ができました。29年度も継続して「必ず実施」により積立を実施し、目的達成が早期に実現できるようにします。

今後の資金計画について

現在、充実残高が約 200,000 百万円不足している結果が出ております。現状のペースで、ゆらくの里の改修を行なおうとすると、あと約6年必要となります。赤字事業が改善されれば、この年数も約半減することは可能となります。

□平成28年度研修等報告

各事業において、ご利用者へのより良い支援を実施するために、1年間に亘り多数の研修への参加を実施してきました。研修で学んだことは、直接支援に活かされています。

平成28年度の参加研修は、以下のとおりであります。

1. 研修実績

事業名	平成27年度		平成28年度	
	参加件数	参加人数	参加件数	参加人数
ゆらくの里	28	38	20	54
栄養士	10	10	9	10
管理	5	5	13	15
今人・我楽・すみれの里	31	43	18	25
相談支援事業	20	24		
児童課	17	76	16	54
地域支援(グループホーム)	6	6		

2. ゆらくの里

ゆらくの里

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月14日	施設見学(じょぶじょいんと おさか たかつき)	北摂杉の子会	浦林・西村
4月17日 24日	行動援護従業者養成研修 広陵町商工会	広陵町商工会	秋田
5月8日 15日			
5月18日	奈良県施設協会総会 奈良県施設協会	奈良県文化会館	中山
6月5日	自閉症eサービス基礎講座「評価 から支援」 自閉症eサービス奈良	大和ビル やまと 会議所	浦林・秋田 西村
7月10日	自閉症eサービス基礎講座「構造 化のアイデア」 自閉症eサービス奈良	大和ビル やまと 会議所	浦林・山本 秋田・西村
7月31日	自閉症eサービス基礎講座 自閉症eサービス奈良	大和ビル やまと 会議所	浦林・秋田

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
8月 5日	県施設協会研修「個別支援計画について」 奈良県施設協会	ボノボビル	黒松・中山
8月 27日	自閉症 e サービス公開講座 自閉症 e サービス奈良	生駒市たけまるホール	浦林・山本 秋田・西村
9月 4日 11日 18日 25日	行動援護従業者養成研修 広陵町商工会	グリーンパレス	黒松
9月 7日	障害者福祉施設職員に対する不 審者対応実技訓練 奈良県警察本部	青垣園	中島
9月 16日	県施設協会研修「個別支援計画について」 奈良県施設協会	ボノボビル	黒松・西村 中山
10月 2日	自閉症 e サービス中級講座 自閉症 e サービス奈良	大和ビル やまと会議所	浦林・秋田 西村・山内
10月 14日	手をつなぐ育成会研修 香芝市手をつなぐ育成会	ふたかみ文化センター	黒松
11月 6日	自閉症 e サービス中級講座 自閉症 e サービス奈良	大和ビル やまと会議所	秋田・西村 山内
11月 30日 12月 2・ 16・20	奈良県強度行動障害支援者養成 研修 奈良県	奈良県産業会館	中島
12月 4日	自閉症 e サービス中級講座 自閉症 e サービス奈良	大和ビル やまと会議所	浦林・秋田 西村・山内
12月 7日 8日	近畿地区知的障害関係施設長会 議 日本知的障害者福祉協会	奈良県ロイヤルホテル	中山
1月 14日	自閉症 e サービス公開講座 自閉症理解の返還 P E C S による 支援 自閉症 e サービス奈良	生駒せせらぎホール	浦林・秋田 西村・山内
1月 28日 29日	自閉症 e サービス 評価セミナー（青年・成人用評価 キット） 自閉症 e サービス奈良	いこま福祉会かざ ぐるま	浦林・秋田 西村・山内
3月 9日	口腔保健講習会 奈良県歯科医師会	ゆらくの里	中山N・服部 秋田・大内 楳田・山林 山本遼・額田

栄養士（調理師含む）

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月16日	障害者施設栄養士の会研修 奈良県栄養士会	五條学園	米田
5月18日	奈良県施設協会総会 奈良県施設協会	奈良県文化会館	米田
6月23日	特定給食施設等関係職員研修会 給食施設における衛生管理について 奈良県中和保健所	奈良県社会福祉総合センター	米田
7月24日	近畿ブロック福祉施設栄養士研修会「栄養データの読み方、見方、使い方」 近畿福祉施設で働く栄養士有志の会	アゼリア柏原	米田
8月7日	ユニットケアマネジメント研修（ファーストステップ研修） 栄養士会福祉事業部近畿ブロック	アゼリア柏原	米田
9月3日 4日	ファーストステップ研修（ICF24hシートを用いた栄養ケア計画書） 栄養士会福祉事業部近畿ブロック	河内長野荘	米田
10月13日	やわめし研修会 障害者施設栄養士の会	和歌山県北コミュニティセンター	米田・北原
11月17日	保育所等給食担当栄養士研修会 障害者施設栄養士の会で取り組んでいる感染症対策ロールプレイングの発表 奈良県健康福祉部こども女性局	橿原市立かしはら万葉ホール	米田

管理

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月13日	改正社会福祉法セミナー 南都銀行	南都銀行西大寺駅前ビル	森本
6月15日	改正社会福祉法セミナー 南都銀行	奈良県社会福祉総合センター	西原
7月21日	新卒採用セミナー ㈱リクルート	なら100年会館小ホール	森本
7月28日	社会福祉法人制度改革対応セミナー（前期） 奈良県経営協	奈良ロイヤルホテル	森本
8月18日	社会福祉法人制度改革対応セミナー 奈良県社会福祉協議会	奈良県社会福祉総合センター	森本

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
9月 7日	企業主人権・同和問題研修会 公正採用選考研修会 奈良労働局	奈良県社会福祉総合センター	森本
9月 21日	奈良県社会福祉法人共同事業 (まほろば幸いネット)事業説明会 奈良県社会福祉法人共同事業 運営理事会	奈良県社会福祉総合センター	森本
11月 7日	改正男女雇用機会均等法・育児 介護休業法説明会 奈良労働局	リガーレ春日野	森本
11月 9日	社会福祉法人制度改革の施行に 向けた説明会 奈良県健康福祉部監査指導室	はぐくみセンター	森本・西原
11月 29日	社会福祉法人制度改革セミナー (後期) 奈良県経営協	リガーレ春日野	森本・西原
12月 1日	福祉人材・採用力UPセミナー 奈良県社協福祉人材センター	奈良県社会福祉総合センター	西原
12月 7日 8日	近畿地区知的障害関係施設長会 議 日本知的障害者福祉協会	奈良県ロイヤルホテル	森本
12月 14日	第2回改正社会福祉法対応セ ミナー 奈良県社協	奈良県社会福祉総合センター	西原

3. 今人・我楽・すみれの里

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
6月 4日 5日	施設見学 社会福祉法人 佛子園	石川県	松下・大谷
6月 25日	てんかん基礎講座 施設協会看護師部会	橿原文化会館	阪本・甲本
6月 28日	障害支援区分認定調査員研修 奈良県	大和高田産業会館	松下
7月 21日 22日	てんかん基礎講座 日本てんかん協会	大阪商工会議所	森田
7月 21日 22日	施設見学 かざぐるま	奈良県生駒市	安井・水内
8月 4日	交通安全研修 評議員 辰巳	すみれの里	通所スタッフ

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
7月 25日 26日	奈良県相談支援従事者初任者研修 奈良県	大和高田産業会館	松下
8月 9日 23日			
9月 6日			
8月 27日	「働くことを構造化する」 奈良eサービス	たけまるホール	安井・北井
9月 7日	障害者福祉施設職員に対する不 審者対応実技訓練 奈良県警察本部	青垣園	大谷
9月 8日	食品衛生責任者養成講習 奈良県中和保健所	桜井市保険事務所	大植
9月 17日 10月 9日	「自閉症eサービス基礎講座」 大阪eサービス	大阪社会福祉指導 センター	安井・水内
11月 1日 29日	奈良県障害者虐待防止・権利擁護 研修 奈良県	奈良県産業会館	岡
11月 18日 19日	第5回全国生産活動・就労支援部 会職員研修会 福岡大会 全国障がい福祉物産展 参加 日本知的障害者福祉協会ほか	天神中央公園	岡・森田 松本
11月 30日 12月 2日 16日 20日	奈良県強度行動障害支援者養成 研修 奈良県	奈良県産業会館	岡
12月 7日	平成28年度就労支援技法ミニ講 座 奈良県障害者職業センター	奈良県障害者職業 センター	堀川
1月 13日 20日 2月 10日	平成28年度奈良県サービス管理 責任者研修 奈良県	奈良県産業会館	松下
2月 15日	都ホテルパティシエ指導 各 種プリン	モンステラ工房	北井・吉良
3月 3日	受入型ボランティアコーディネ ーション研修 奈良県社協	奈良県社会福祉総 合センター	阪本

4. 相談支援事業

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月 7日	葛城市相談支援事業所連絡会議	ゆうあいステーション	吉田
5月 12日	葛城市相談支援事業所連絡会議	ゆうあいステーション	吉田
5月 13日	療育相談研修	御所市 いきいき ライフセンター	吉田
6月 4日 5日	視察研修 社会福祉法人 佛子園	石川県	吉田・吉岡
6月 10日	葛城市相談支援事業所連絡会議	ゆうあいステーション	吉田・佐藤
7月 10日	葛城市相談支援事業所会議	ゆうあいステーション	吉田・佐藤 保川
7月 19日	障害者就労支援研修	奈良県産業会館	吉田
8月 19日	療育相談研修	御所市 いきいき ライフセンター	吉田
9月 1日 2日	平成 28 年度 奈良県相談支援従事者現任研修	奈良県産業会館	吉田・保川
9月 7日 8日 9日	第 54 回 全国知的障害関係施設職員研究 大会	札幌市	吉田
9月 8日	葛城市相談支援事業所連絡会議	ゆうあいステーション	保川・佐藤
9月 20日	平成 28 年度 奈良県相談支援従事者現任研修	奈良県産業会館	吉田・保川
12月 7日 8日	近畿地区知的障害関係施設長会 議 日本知的障害者福祉協会	奈良ロイヤルホテル	吉田
2月 8日	障害者の自立とサービス等利用 計画について 奈良県健康福祉部障害福祉課	葛城市 総合福祉ス テーション	吉田・佐藤 保川
2月 20日	暮らしネットフォーラム 奈良県暮らしを支える支援ネッ トワーク	奈良県商工会議所	吉田
3月 2日	奈良県障害のある人もない人 もともに暮らしやすい社会づく り条例 中和地区 3 市 1 町障害者自立支 援協議会	香芝市総合福祉セ ンター	吉田・保川
3月 7日	性問題行動のある知的障害者へ の支援 奈良県地域定着支援センター	奈良県社会福祉総 合センター	佐藤

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
3月 23日	輝く“ひと”の尊さ ～命の大切さを共有しませんか～ 奈良県自立支援協議会	奈良県産業会館	保川
3月 25日	未来創造会議 奈良県圏域マネージャー	奈良県社会福祉総合会館	保川
3月 28日	子どもの発達と感覚統合～作業療法士の立場から～ 奈良県健康福祉部障害福祉課	奈良県社会福祉総合センター	佐藤

5. 児童課

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
6月 9日	S V石原 宏先生 勉強会 ～箱庭療法を用いた児童への支援～	ボノボビル	児童支援課 全スタッフ
7月 2日	【発達障害 講演会】 発達障害支援のこれからを考える 奈良県発達障害支援センターで いあ～	帝塚山大学	児童支援課 全スタッフ
8月 6日	【発達障害 講演会】 自閉症や発達障害のある子どもを持つ 家族に対する支援 奈良県発達障害支援センターで いあ～	奈良県文化会館 小ホール	児童支援課 全スタッフ
9月 11日	S V石原 宏先生 勉強会 ～保護者とのコミュニケーション講座～	ボノボビル	児童支援課 全スタッフ
11月 26日	発達障害の理解と支援 奈良県発達障害支援センター でいあ～	畿央大学	浦田・堀川 西本・原田
11月 27日	SV 石原 宏先生 勉強会 ～内言・外言に着目した コミュニケーション方法について～	ボノボビル 4F	児童支援課 全スタッフ
12月 10日	ライフステージに応じた自閉症スペクトラムの支援について 日本自閉症協会	橿原市商工経済会館	堀川
1月 22日	教育と保育のための発達診断セミナー NPO 法人発達保障研究センター	奈良県社会福祉総合センター	浦田・池邊
2月 5日	SV 石原 宏先生 勉強会 ～箱庭療法を用いた児童への支援～	ボノボビル 4F	児童支援課 全スタッフ
2月 11日 12日	第224回 療育研修会「シェルボン・ムーブメント(療法)」入門コース後期 ひょうご子どもと家庭福祉財団	子ども発達支援センター・さんだ	堺井

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
2月 15日	障害のある児童の育ちを支援する研修会 奈良県立登美学園	奈良県立登美学園	原田・池邊
2月 25日	SV 重松 孝治先生 勉強会 ～事例検討・障がい告知について～	ボノビル 4F	児童支援課 全スタッフ
3月 15日	第1回勉強会 PECS を用いた支援 奈良 PECS 研究会	大和郡山市市民交流館	浦田・堀川 西本・原田・ 堺井・森田
3月 25日	春だね ならの実践報告交流会 全国障害者問題研究会	奈良教育大学 附属小学校	浦田・西本
3月 28日	子どもの発達と感覚統合～作業療法士の立場から～ 奈良県健康福祉部障害福祉課	奈良県社会福祉総合センター	森田

6 . 地域支援（グループホーム）

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
9月 7日	障害者福祉施設職員に対する不審者対応実技訓練 奈良県警察本部	青垣園	山林
3月 4回	行動援護従事者養成研修 奈良県障害福祉課	奈良県社会福祉総合センター	山林